

把構文の基本-講義

→ 問題演習 把被構文ドリル [exercise](#) [chinese](#) [grammar](#)
https://study.bem130.com/exercise/chinese/grammar/把被構文ドリル-問題演習/

1 導入

把構文は、目的語を前へ出し、その対象にどのような処置や変化が加わるかを後半で示す構文である。
日本語の語順にひきずられると平叙文のまま述べがちだが、中国語では結果を伴う処理を明示したいときに把構文が有効になる。

2 核心

把構文の基本形は、【主語/しゅご】 + 【把/bǎ】 + 【目的語/もくてきご】 + 【動詞/どうし】 + 【結果/けっか】である。
動詞の後には、結果補語、方向補語、数量表現など、処置の内容を示す成分が必要である。

Correct

Wǒ bǎ shū kàn wán le.
我把书看完了。

[GRM] 本に対して「読み終える」という処置が加わっている。

3 直感

把構文は、「何をどうしたか」を順序立てて示す型である。目的語を先に提示してから、その対象の変化を述べるので、処理対象が明瞭になる。

4 成立しやすい場面

4.1 1. 結果が明確な場面

Correct

Tā bǎ mén guān shàng le.
他把门关上了。

[GRM] 門に閉まるという結果が加わっている。

4.2 2. 配置や移動を示す場面

Correct

Qǐng bǎ bēizi fàng zài zhuōzi shàng
请把杯子放在桌子上。

[GRM] コップ お めいかく
杯子をどこへ置くかが明確である。

4.3 3. 数量や完了を伴う場面

Correct

Wǒ bǎ zhè jiàn shì shuō le liǎng cì
我把这件事说了两次。

[GRM] たいしょう たい にかい の しよち かんりよう
対象に対して、二回述べるという処置が完了している。

5 避けるべき誤用

- けっか しよち つづ お
結果や処置が続かないのに、[把/bǎ] だけを置く。
- ぞんざいぶん じょうたいぶん 無理 てきよう
存在文や状態文に無理に適用する。
- もくてきご ふとくてい しよりたいしょう さだ つか
目的語が不特定で、処理対象が定まっていないのに使う。

Incorrect

Wǒ bǎ shū kàn
我把书看。

[GRM] けっか かんりよう しめ ば ごうぶん ふじゅうぶん
結果や完了が示されず、把構文として不十分である。

6 日本語とのずれ

にほんご ほん よ お もくてきご もくてきかく お ちゅうごご たいしょう ぜんち しより
日本語では「本を読み終えた」と目的語をそのまま目的格で置けるが、中国語では対象を前置して処理の
ほうこう きょうちよう ほっそう き こてい ば ごうぶん ひつよう ぼめん ふつう えすぶいおーぶん
方向を強調 することがある。この発想の差を固定しないと、把構文が必要な場面でも普通の SVO 文だけ
す
で済ませてしまう。

7 見分け方

- もくてきご たい しよち へんか つよ しめ ば ごうぶん けんとう
目的語に対する処置や変化を強く示したいときは、把構文を検討する。
- どうし あと ぼご すうりようひようげん お かくにん
動詞の後に補語や数量表現 が置けるかを確認する。
- たいしょう とくてい てんけん
対象が特定できるかを点検する。

8 関連リンク

→ 講義 被構文の基本 [lecture](#) [chinese](#) [grammar](#)
<https://study.bem130.com/lecture/chinese/grammar/被構文の基本-講義/>

→ 問題演習 把被構文ドリル [exercise](#) [chinese](#) [grammar](#)
<https://study.bem130.com/exercise/chinese/grammar/把被構文ドリル-問題演習/>